

## はじめに



長岡大学長 原 陽一郎

長岡大学は、今年3月に3期生が卒業し、開学7年目を迎えました。この間、地域の皆様に様々なご支援ご協力いただきました。厚く御礼申し上げます。

さて、私は平成16年4月に学長に就任しましたが、それ以来、精力的に大学改革を進めてきました。まず、大学の基本理念・目標も次のように新しく決めました。

★基本理念・・・「ビジネスを発展させる能力と人間力を鍛える大学」

★基本目標・・・学生に「毎日の大学生活で充実感を、能力アップを確かめて達成感を、卒業のとき4年間を振り返って満足感を」実感させること

この理念・目標を実現すべく、この間、教育内容・教育方法の改革を行ってきました。本学は地域の産業界のニーズに対応した「幅広い職業人育成」をめざし、その実現のため、平成17年度から「産学融合型専門人材開発プログラムー長岡方式ー」を開始しました。この教育プログラムは、産学連携教育を通して産業界で役に立つ実践的人材の育成を目指したものです。

幸い、この教育プログラムが、文部科学省の平成18年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(テーマ5：実践的総合キャリア教育の推進)＝現代GPに選定されました。

現代GPは、社会的要請の強い課題に対する取組のなかで「特に優れた教育プログラム」を選び、財政支援により高等教育の活性化を目標としたものです。GPとは、Good Practiceの略で、「模範となる取組」であり、全国の大学の模範となるような先進的な教育プログラムを指します。

長岡大学の現代GP選定は、私立大学では新潟県内で初めてであり、国公立大学も含めた県内大学の経済経営系学部としても初めてになります。また、全国でみても、歴史のある有名大学が多く選定されているなかで、もっとも新しい大学(6年目)2校の1つになっています。

昨年10月以降、私どもは、この現代GPプログラムを全力をあげて遂行し、この3月に1年度目が終了しました。連携企業、連携FDチームメンバー、企業講師の皆様をはじめ、多くの方々にご協力、ご支援いただきました。あらためて御礼申し上げます。

本報告書は、平成18年度GPプログラムの展開内容と今後の課題をとりまとめたものであります。多くの方にご一読いただき、ご感想、ご意見をいただければ幸いです。現代GPプログラムは3年間継続されますので、皆様のご意見をうかがい、一層の充実を図って行きたいと考えます。次年度も、ご協力、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

なお、平成19年4月から、本学は1学部1学科(産業経営学部 産業経営学科)から、1学部2学科(経済経営学部 環境経済学科、人間経営学科)に改組されます。新学部・新学科にも引き続き、ご協力、ご支援のほどお願いいたします。

平成19年3月